

新型コロナウイルス感染症対策 「換気用ウインドバイザー」と「客席間フェイスシールド」の導入について ～さらなる安全性の向上を図ります～

NEWS

バス車内での感染症対策として、新たに「換気用ウインドバイザー」と「客席間フェイスシールド」を順次導入しています。今後ご利用のお客様に安心してご乗車いただけますよう、バス車内の消毒と換気を行い、感染症対策を徹底し運行してまいります。

1. 路線バスに換気用ウインドバイザーを導入

バスの客席上窓部2カ所（前方・後方）に換気用ウインドバイザーを設置することで、降雨等による浸水を防ぎつつ、窓を10cm程度開放した状態を保つことができるため、天候の影響を受けずに、常時換気しながら走行することが可能となります。（約2分30秒の走行で車内の空気が入れ替わります）（図1参照）

- ・導入車両数 宮城交通 路線バス 239台
ミヤコーバス 路線バス 74台

【図1：換気用ウインドバイザー】



ウインドバイザー

前方バイザー

後方バイザー

2. 高速バスに客席間フェイスシールドを導入

隣接する座席の間をこのフェイスシールドで遮断することによって、飛沫感染防止が期待できます。座席のタイプ（シートベルトの種類）に合わせて、異なる形状のフェイスシールドを採用しています（図2参照）。

・高速バス 宮城交通 9路線

弘前～仙台線、秋田～仙台線、盛岡～仙台線、大船渡・気仙沼～仙台線、山形～仙台線、上山～仙台線、鶴岡・酒田～仙台線、福島～仙台線、郡山・須賀川～仙台線

ミヤコーバス 8路線

石巻～仙台線、気仙沼・南三陸～仙台、佐沼～仙台、鳴子～仙台線、古川～仙台線、加美～仙台線、大衡～仙台線、村田・蔵王・遠刈田～仙台

【図2：客席間フェイスシールド】



2点式のシートベルト用

3点式のシートベルト用

上記ウインドバイザー、フェイスシールドのほか、アクリル板の設置、光触媒抗菌コーティングなどの対策を施し、感染拡大防止に取り組んでおります。

以上